

請願審査

総務環境委員会(9月2日) 田口一登議員

「日本軍慰安婦問題に誠実な対応を求める請願」

「河野談話は、解散前のドサクサに出された」などと不採択に

強制性を認めた河野談話は政府の公式見解

9月2日の市議会総務環境委員会で「日本軍慰安婦問題について日本政府に誠実な対応を求める意見書提出に関する請願」が審査されました。田口一登議員は「政府が調査した結果、慰安所における生活は、強制的な状況の下で痛ましいものであったと表明し、心からお詫びと反省の気持ちを表明した河野談話は政府の公式見解だ」と採択を求めました。

減税・自民・公明・民主(一部)が不採択に

自民党議員は「河野談話は、解散前のドサクサに出された。強制されたというのは本人が言うだけで

証拠がない。韓国政府は補償を放棄している」などと主張、減税日本は「意見書を出すことは名古屋市の公益に関係ない」ととぼけ、採決では、民主の一人と自民・公明・減税が反対し不採択となりました。

ミニボートピア設置の請願は「保留」に

「小規模場外舟券売場を栄に設置する」ことに賛成・反対の双方から提出された20件の請願について、田口かずと議員が、「地域が二分して混乱しているときに議会としては、混乱の元になった設置を白紙に戻す立場をとるべきだ」と意見を述べましたが、さらに様子を見るとして「保留」となりました。

総務環境委員会(2011年9月2日)での請願審査の結果

請願名	請願者	結果	備考
小規模場外舟券売場の設置に関する請願(10件)	栄東発展会、栄レジャービル協会など	保留	
名古屋市中区栄四丁目13番の場外舟券売場の設置に反対する請願(10件)	名古屋医師会、栄学区子ども会など		
日本軍慰安婦問題について日本政府に誠実な対応を求める意見書提出に関する請願	早期解決を求める署名をすすめる会	不採択	共と斎藤ま議員(民)が採択、減税・自・公・山本議員は不採択反対(民)

9月議会は9月9日～10月12日。減税条例や決算を審議

名古屋市議会9月定例会が9日から始まります。補正予算は約6億円。災害対策1.2億円、待機児童対策3.8億円、児童虐待防止1.6億円などが計上されます。河村市長は市民税減税条例を前回と同様の内容で提案します。政府の財政見通しがはっきりしない中で、減税の財源見通しや暮らしへの影響がどう見込まれているかがまだ不明です。

審議日程(条例や補正予算は9月28日まで、以後は決算審議)

9月9日(金)	本会議	・開会・提案説明
9月14日(水)～16日(金)	本会議	議案質疑や議案外質問
9月20日(火)～27日(火)	委員会	議案質疑と委員会の意思決定
9月28日(水)	本会議	請願や条例、補正予算などの討論・採決。決算の提案
決算審査 9月30日～10月7日(委員会) 10月12日(本会議採決)		

一般会計補正予算(第4号)の主な内容

補正額6億6200万円。(単位:万円)

- ・災害対策(1億2千万円)
 - 名古屋市立大学の耐震改修設計費補助 1400
 - 民間保育所の耐震改修補助(1箇所) 2500
 - 津波避難ビルで市営住宅の屋上整備(4棟) 3600
 - 津波堆積物調査 1200
 - 災害用高所監視カメラの設置(更新2、新1) 900
- ・待機児童対策(3億8300万円)
 - 民間保育所の整備補助(新築2、改築2) 1億5100
 - 賃貸方式の民間保育所の設置(8か所) 1億7300
 - 個人実施型家庭保育室の設置(4か所) 1400
 - グループ実施型家庭保育室の設置(6か所) 4600
- ・児童虐待の防止(研修等 全額県費) 1億5900

請願の第1次締め切りは9月30日